



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月29日

上場会社名 鉦研工業株式会社
 コード番号 6297 URL <http://www.koken-boring.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 末永 幸紘

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務本部長 (氏名) 三輪 美之

TEL 03-6907-7888

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,972	0.2	41		42		103	
29年3月期第3四半期	4,985	17.8	70	89.4	84	87.2	80	86.5

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 95百万円 (%) 29年3月期第3四半期 83百万円 (85.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	11.54	
29年3月期第3四半期	8.96	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	7,960	3,384	42.4
29年3月期	7,475	3,569	47.7

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 3,376百万円 29年3月期 3,564百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		10.00	10.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,850	15.5	300	61.5	300	51.9	200	32.9	22.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	8,970,111 株	29年3月期	8,970,111 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	3,516 株	29年3月期	3,481 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	8,966,609 株	29年3月期3Q	8,966,715 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)5ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
3. 四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	10
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復や雇用・所得環境の改善が続くなかで各種政策の効果もあって、個人消費や設備消費を持ち直しており、景気は緩やかな回復基調が続いております。一方で、北朝鮮情勢への警戒感や米国政権の政策動向に対する懸念等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境につきましては、国内市場は東日本大震災関連特需の峠は越えましたが、今後も都市の再開発、全国規模の防災・減災対策、インフラ老朽化対策、リニア中央新幹線建設など、社会資本設備が不可欠で、建設投資はこれまでと同水準で推移するものと見込まれています。

このような環境下、当社グループでは売上拡大と高収益維持のため、昨年度期首に策定した「2016中期経営計画」（2016年度～2018年度）での個別戦略項目を引き続き鋭意推進しております。

当第3四半期連結累計期間の受注は、工事施工関連においてトンネル先進調査工事やアンカー工事を中心に好調に伸びたため、ボーリング機器関連の出遅れをカバーし前年同四半期を上回ることができました。売上につきましては、ボーリング機器関連の売上は国内・海外ともに伸び悩んだものの、工事施工関連の出来高が進捗したことにより完工高が増加し、全体では前年同四半期を若干下回りました。

以上の結果、連結受注高は、6,051百万円（前年同四半期増減率16.3%）、連結売上高は、4,972百万円（同△0.2%）となりました。利益面におきましては、売上高は前年並みでありましたが、ボーリング機器関連の原価率が上昇したことにより固定費をカバーすることができず、営業損失は△41百万円（前年同四半期は70百万円の営業利益）、経常損失は△42百万円（同84百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は△103百万円（同80百万円の四半期純利益）となりました。

当第3四半期連結累計期間の業績は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間(A) 自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	前第3四半期 連結累計期間(B) 自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	6,051	5,204	846	16.3%
売上高	4,972	4,985	△12	△0.2%
営業利益又は営業損失(△)	△41	70	△111	—
経常利益又は経常損失(△)	△42	84	△127	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△103	80	△183	—

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① ボーリング機器関連

当セグメントにおきましては、ボーリングマシン本体及びその関連機械と海外ODA水井戸機械案件の受注を確保できましたが、国内、海外ともに受注高は前年同四半期を若干ながら下回りました。売上高は、特注機や関連機械のバッチャープラントなどの機械本体の出荷は進みましたが、主力のロータリー・パーカッションドリルが伸びず、前年同四半期と比べると減少いたしました。利益面では売上高が減少し、特注機の原価率が高めに推移したことにより固定費をカバーできず、セグメント損失（営業損失）となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間(A) 自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	前第3四半期 連結累計期間(B) 自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	2,892	2,926	△34	△1.2%
売上高	2,641	3,176	△535	△16.8%
セグメント利益又は損失(△)	△119	100	△219	—

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

② 工事施工関連

当セグメントにおきましては、受注については海外案件工事の受注はなかったものの、国内でのトンネル先進調査工事、特殊井戸掘削工事及びアンカー工事の受注が伸び、受注高は前年同四半期を大きく上回りました。売上高につきましては、トンネル先進調査工事、温泉工事やアンカー工事を中心に完工したことにより前年同四半期を上回りました。利益面につきましては、比較的収益性の高い当社直営工事の売上高構成が少なかったものの、完成工事高の増加によりセグメント利益（営業利益）となりました。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間(A) 自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	前第3四半期 連結累計期間(B) 自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	前年同期比較	
			増減額 (A)-(B)	増減率 (A)/(B)-1
受注高	3,158	2,277	880	38.7%
売上高	2,330	1,808	522	28.9%
セグメント利益又は損失(△)	78	△30	108	—

(百万円未満は切り捨てて表示しております。)

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末と比較して485百万円増加し、7,960百万円となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が377百万円、完成工事未収入金が70百万円、原材料及び貯蔵品が29百万円減少しましたが、現金及び預金が470百万円、仕掛品が237百万円、未成工事支出金が187百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して512百万円増加し、6,178百万円となりました。

固定資産は、建設仮勘定、工具器具及び備品、機械及び装置などで48百万円の設備投資を行いました。79百万円の減価償却の実施により、前連結会計年度末と比較して27百万円減少し、1,781百万円となりました。

②負債の部

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比較して669百万円増加し、4,575百万円となりました。

流動負債は、賞与引当金が96百万円、支払手形及び買掛金が70百万円減少しましたが、電子記録債務325百万円、未成工事受入金が256百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して631百万円増加し、3,504百万円となりました。

固定負債は、長期借入金の資金調達により42百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比較して38百万円増加し、1,070百万円となりました。

③純資産の部

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、親会社株主に帰属する四半期純損失103百万円等を計上したことから、3,384百万円となり、自己資本比率は42.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の業績予想につきましては、平成29年10月13日に公表いたしました業績予想から変更はございません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	727,541	1,198,494
受取手形及び売掛金	1,266,793	889,485
完成工事未収入金	503,239	432,938
電子記録債権	362,546	365,175
商品及び製品	1,330,223	1,366,309
仕掛品	547,696	785,076
未成工事支出金	183,552	370,818
原材料及び貯蔵品	509,482	479,809
繰延税金資産	155,753	125,030
その他	80,650	165,841
貸倒引当金	△1,300	—
流動資産合計	5,666,180	6,178,979
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,079,566	1,079,566
その他(純額)	443,477	416,505
有形固定資産合計	1,523,043	1,496,071
無形固定資産		
繰延税金資産	29,609	25,368
投資その他の資産		
繰延税金資産	157,904	160,660
その他	136,817	136,929
貸倒引当金	△37,923	△37,331
投資その他の資産合計	256,797	260,258
固定資産合計	1,809,450	1,781,697
資産合計	7,475,631	7,960,677

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,415,698	1,345,482
工事未払金	106,920	103,156
電子記録債務	—	325,556
短期借入金	582,000	644,000
1年内返済予定の長期借入金	200,324	204,069
未成工事受入金	22,908	279,344
未払法人税等	36,529	27,082
賞与引当金	170,514	74,346
製品保証引当金	—	5,500
その他	338,869	496,283
流動負債合計	2,873,764	3,504,820
固定負債		
長期借入金	246,825	289,261
役員退職慰労引当金	86,774	87,728
退職給付に係る負債	508,610	525,606
資産除去債務	11,684	11,792
環境対策引当金	4,000	4,000
その他	174,147	152,537
固定負債合計	1,032,041	1,070,926
負債合計	3,905,806	4,575,746
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,165,415	1,165,415
資本剰余金	5	5
利益剰余金	2,261,883	2,068,756
自己株式	△1,556	△1,580
株主資本合計	3,425,748	3,232,596
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	187,108	187,108
退職給付に係る調整累計額	△48,216	△43,286
その他の包括利益累計額合計	138,891	143,822
非支配株主持分	5,185	8,511
純資産合計	3,569,824	3,384,930
負債純資産合計	7,475,631	7,960,677

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	4,985,114	4,972,733
売上原価	3,766,110	3,889,806
売上総利益	1,219,003	1,082,926
販売費及び一般管理費	1,148,398	1,124,290
営業利益又は営業損失(△)	70,604	△41,364
営業外収益		
受取利息	76	155
為替差益	—	51
受取保険金	21,812	3,277
貸倒引当金戻入額	1,393	1,892
その他	8,099	7,753
営業外収益合計	31,381	13,130
営業外費用		
支払利息	15,709	12,942
為替差損	20	—
支払手数料	219	0
その他	1,465	1,804
営業外費用合計	17,415	14,747
経常利益又は経常損失(△)	84,571	△42,981
特別利益		
固定資産売却益	3,053	779
特別利益合計	3,053	779
特別損失		
固定資産売却損	334	32
固定資産除却損	228	76
特別損失合計	562	109
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	87,062	△42,311
法人税、住民税及び事業税	14,443	32,031
法人税等調整額	△6,239	25,791
法人税等合計	8,203	57,822
四半期純利益又は四半期純損失(△)	78,859	△100,134
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,469	3,326
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	80,328	△103,460

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	78,859	△100,134
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	5,028	4,930
その他の包括利益合計	5,028	4,930
四半期包括利益	83,887	△95,203
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	85,357	△98,530
非支配株主に係る四半期包括利益	△1,469	3,326

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	3,176,952	1,808,162	4,985,114	—	4,985,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,565	1,000	8,565	△8,565	—
計	3,184,517	1,809,162	4,993,680	△8,565	4,985,114
セグメント利益又は損失 (△)	100,325	△30,281	70,043	560	70,604

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額560千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ボーリング 機器関連	工事施工関連			
売上高					
外部顧客への売上高	2,641,781	2,330,951	4,972,733	—	4,972,733
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,810	—	2,810	△2,810	—
計	2,644,591	2,330,951	4,975,543	△2,810	4,972,733
セグメント利益又は損失 (△)	△119,674	78,185	△41,489	124	△41,364

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額124千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。